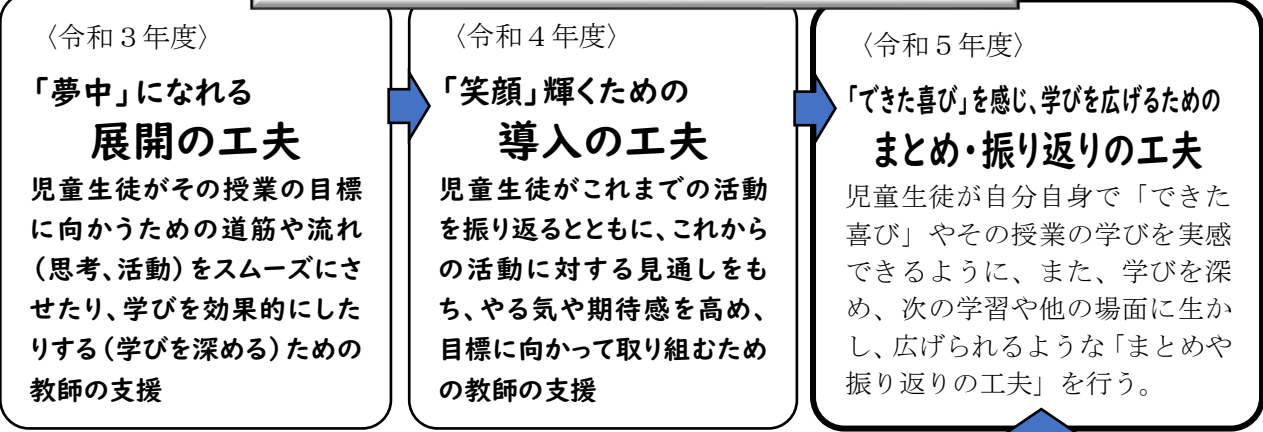


【学校教育目標】 「夢中」と「笑顔」で 共生社会を生きるひと

授業づくり

〈研修主題〉
「夢中」になって取り組み、できた喜びに「笑顔」輝く授業づくり

授業づくりの重点



各学部の「目指す姿」と窓口となる授業		
小学部	中学部	高等部
分かって「やろう!」と取り組む姿	自ら働き、満足感を得る姿	働く喜びを感じる姿
遊びの指導、生活単元学習	作業学習	作業学習

職員研修

専門性：「児童生徒理解に基づく『夢中』と『笑顔』の授業づくり」
令和5年度学校経営計画から

静北版OJT研修

- ・「教師の技」の伝え合いによる専門性の共有と蓄積
- ・「教え教えられること」による、教員一人一人の力量の向上

【OJT研修】

所属学部を中心にメンターとメンティをペアリング、グルーピングし、授業における教育技術の他、教材・教具の開発、児童・生徒指導、保護者対応など、学校のあらゆる場面での「教師の技」を伝え合い、専門性の向上を図る。

2年次、6年次研対象者はメンティとなり、ペアとなるメンター教員は対象者の授業研究における指導助言を行う。

・中堅研対象者を講師とした「夏のOJT研修」

・年次研対象者を中心とした授業研究

〈研修主題〉

「夢中」になって取り組み、できた喜びに「笑顔」輝く授業づくり

【グループの研修テーマ】

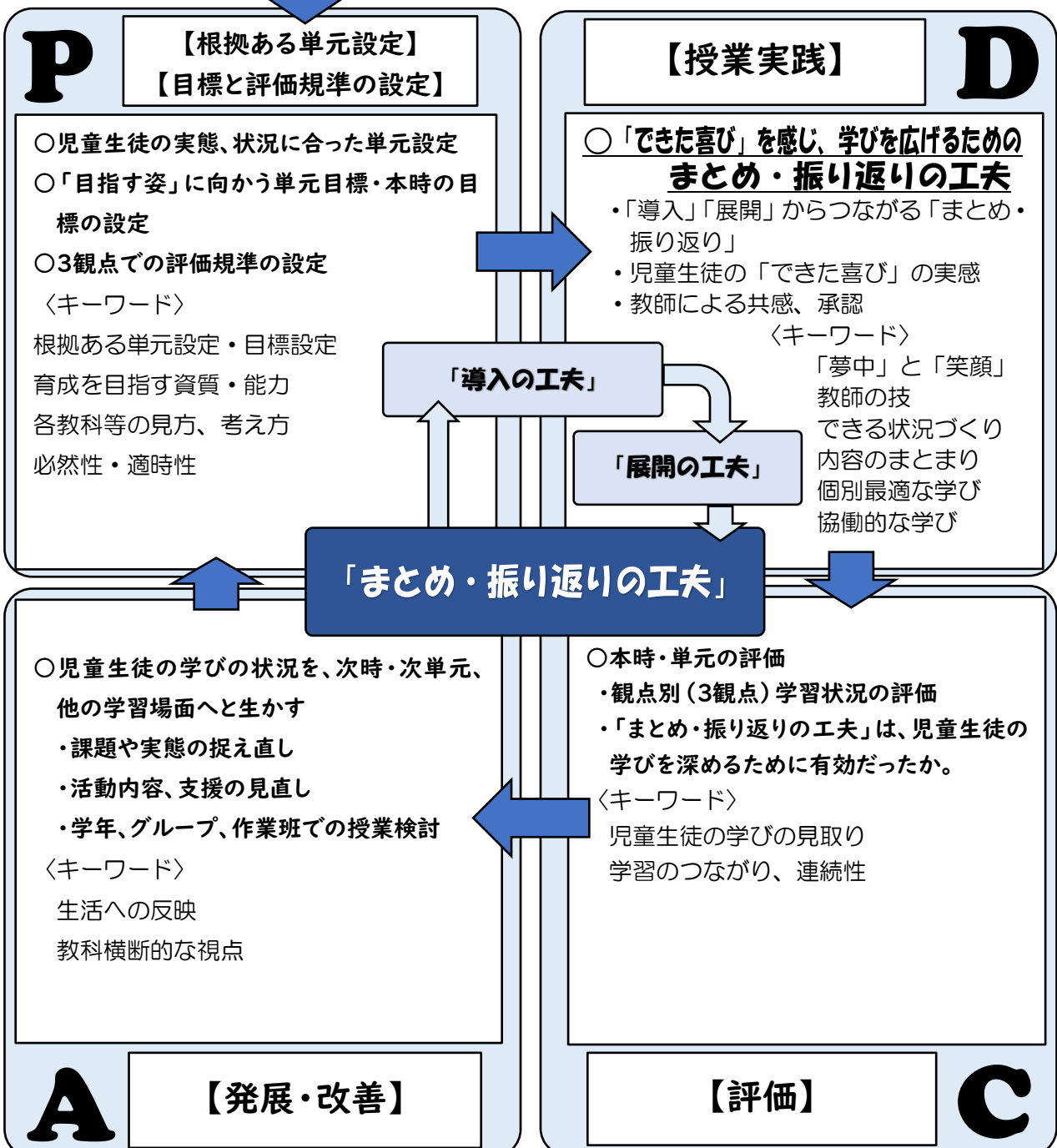
小学部：「分かって『やろう!』と取り組む姿」を目指した授業づくり

中学部：「自ら働き、満足感を得る姿」を目指した授業づくり

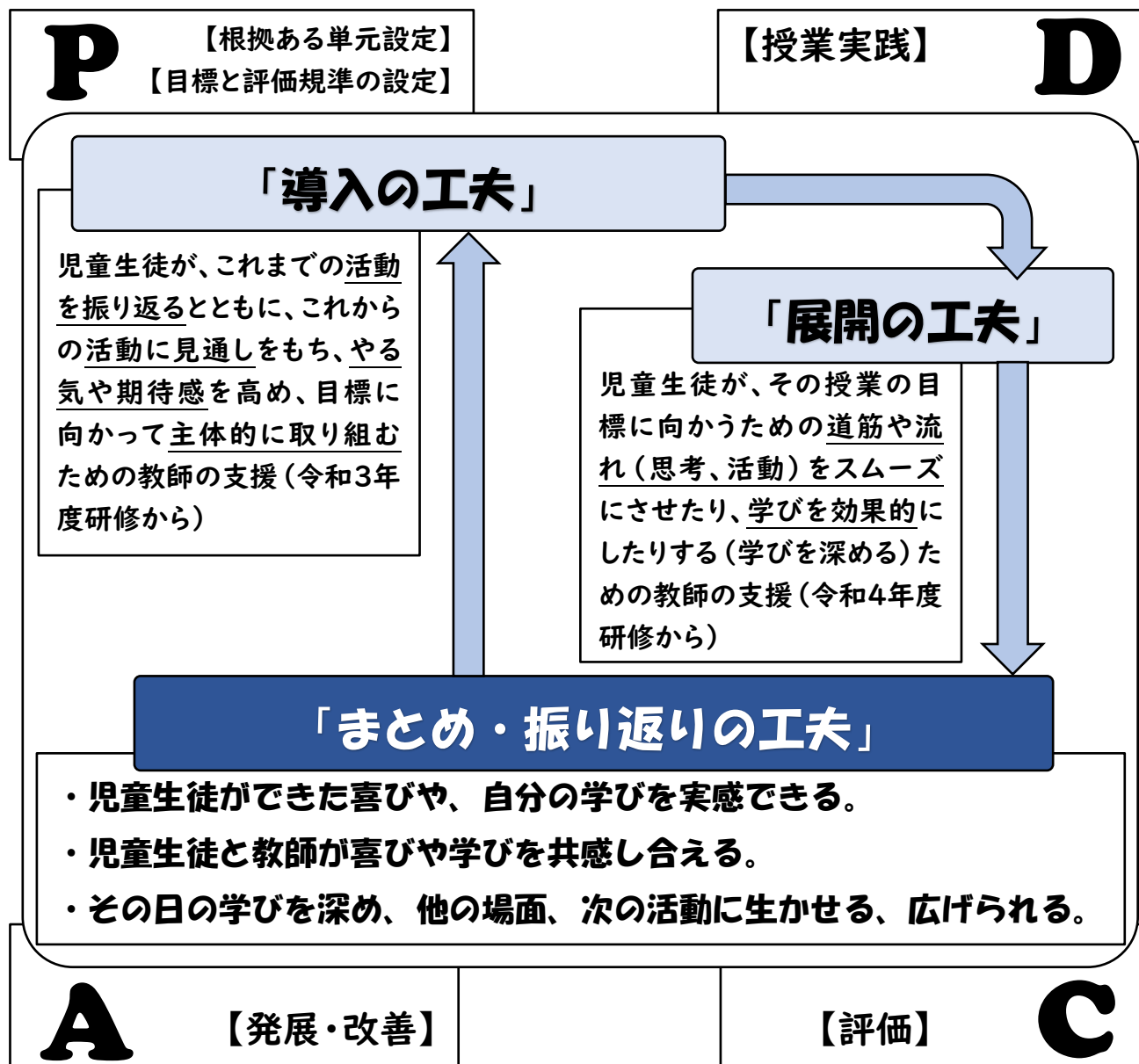
高等部：「働く喜びを感じる姿」を目指した授業づくり

【実態の把握・授業の根拠】

- ・児童生徒の状況
- ・個別の教育支援計画
- ・個別の指導計画
- ・学習指導要領
- ・年間指導計画



まとめ・振り返り＝児童生徒が「できた喜び」を感じ、「笑顔」を輝かせる場面



- 授業を1単位時間内の時間の流れて、単純に前半＝「導入」、中盤＝「展開」、後半＝「まとめ」と考えるのではなく、一つのまとまりのある学習の中で、
- 見通しや期待感、学習への問いを持つ場面＝「導入」
- 主活動に「夢中」になって取り組む場面＝「展開」
- できた喜びを感じ、「笑顔」を輝かせる場面＝「まとめ・振り返り」
- というように捉え、魅力ある授業づくりをしていく。